



週刊 前防衛副大臣
まこと
おにき誠



産業で平和な国を興す



8月になり、平和を考える機会が増えています。

終戦直前の日本において、制空権を握られた日本軍は、B-29爆撃機を撃退するため戦闘機を開発しました。その名は震電。いよいよ試験飛行に成功したという時に、日本は終戦を迎えました。歴史にはありませんが、震電の投入がもう少し早ければ広島・長崎の原爆や福岡大空襲は防げたのかも…と考えてしまいます。

その震電を開発した九州飛行機を前身とする、渡辺鉄工株式会社さんを再訪させていただきました。防衛大臣の時に訪問して以来、ご縁あって二度目の来訪です。今回は私の先輩が経営する株式会社平和電興さんのルーツを探る旅でした。

平和電興を創業した橋原正成さん(現社長の祖父)は、九州飛行機のエンジニアでした。震電を完成させたものの日本は敗戦し、焼け野原が残されました。正成さんは、「この日本を電気の技術をもって再興し、平和な国を作る!」との思いで平和電興を立ち上げられたそうです。

私は防衛副大臣として日英伊共同開発戦闘機の開発に携わりました。このプロジェクトは日本の平和を守り、産業を振興します。九州飛行機、渡辺鉄工、平和電興～往時の関係者の技術と思いを受け継いだ方々と、今の時代を生きる責任を熱く語り合いました。



おにき誠政治塾
ONLINE

政治を学びたいあなたに送る、現職議員が発信する政治の一次情報!

これまでリアルで開催していた政治塾を、ONLINE配信に切り替えて全国に発信します。

怪しい情報が世に溢れる中、より正確な情報を発信し、国民と政治の情報格差を埋めていきます。政治を学びたい人、政治家を志す人、ぜひご覧ください。

今月のテーマは「自民党の70年を反省してみた」
明日8/10(日)18:00に第53講を配信いたします。

おにき誠 政治塾 **Online**

【今月のテーマ】自民党の70年を反省してみた
第53講

日本の戦後を作った自民党



2025年8月マンスリーテーマ：

自民党の70年を反省してみた

第52講：そもそも自民党はどんな政党か？

第53講：日本の戦後を作った自民党

第54講：失われた30年と自民党

第55講：ウイングを広げ過ぎた自民党

第55講：外国人政策と自民党



こちらのQRコードからご視聴ください。
チャンネル登録、いいねボタンを
よろしくお願いします。